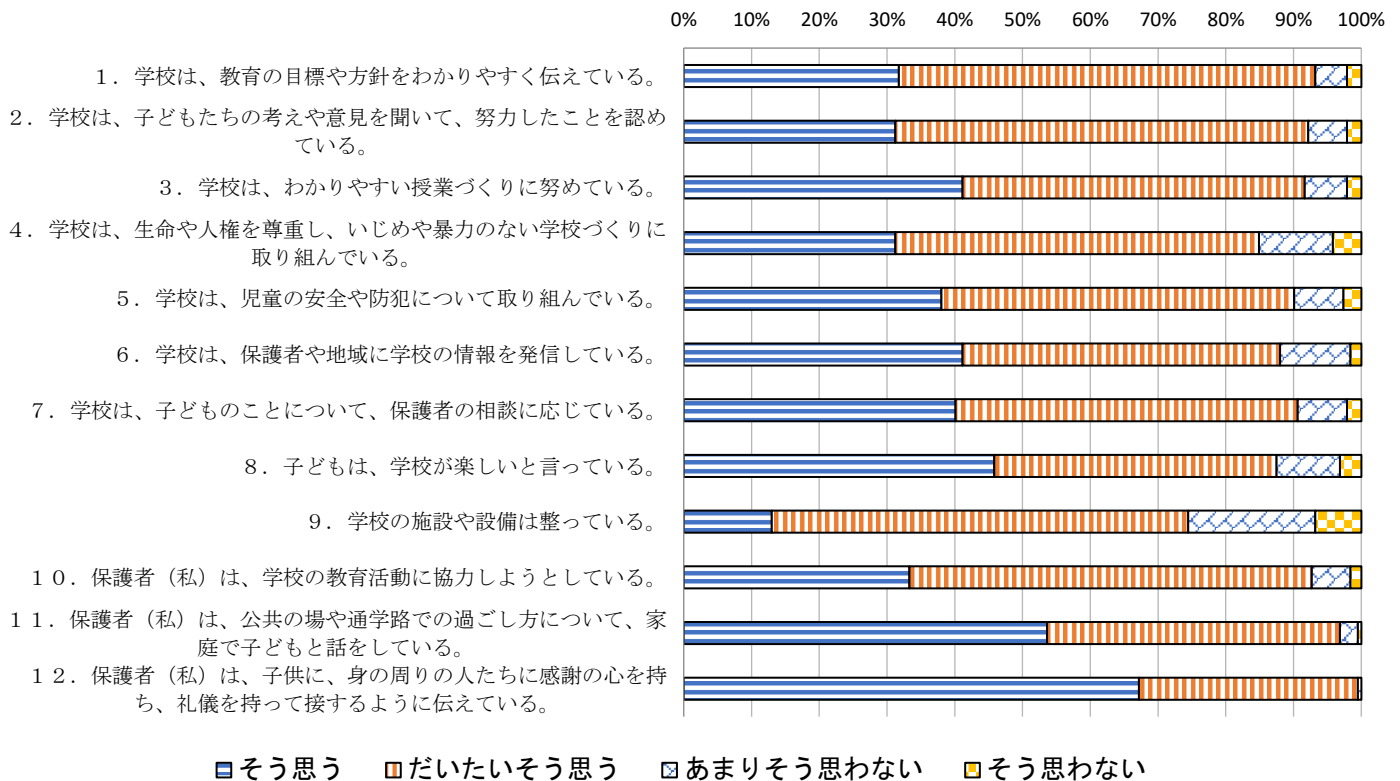


八松小だより臨時号

2025年(令和7年)度 学校評価結果

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。今年度実施した学校評価アンケートについて、192世帯(33.5%)の保護者の皆様からいただいた結果および児童(3・4年生、5・6年生)の結果をまとめました。主に肯定的な評価が多かった点と、今後の課題として大切にしていきたい点についてお知らせします。

【保護者アンケートの結果から】



全体として、多くの項目で肯定的なご回答をいただきました。特に、・学校は、子どものことについて、保護者の相談に応じている ・学校は、わかりやすい授業づくりに努めている ・学校は、子どもたちの考えや意見を聞き、努力したことを認めている ・学校は、教育の目標や方針をわかりやすく伝えている といった項目では、肯定的な回答が90%以上となりました。

これらの結果から、校内研究を通して授業改善に取り組んできたことや、保護者の皆様のお声に耳を傾けながら対応してきたことが、一定程度反映されているものと受け止めています。

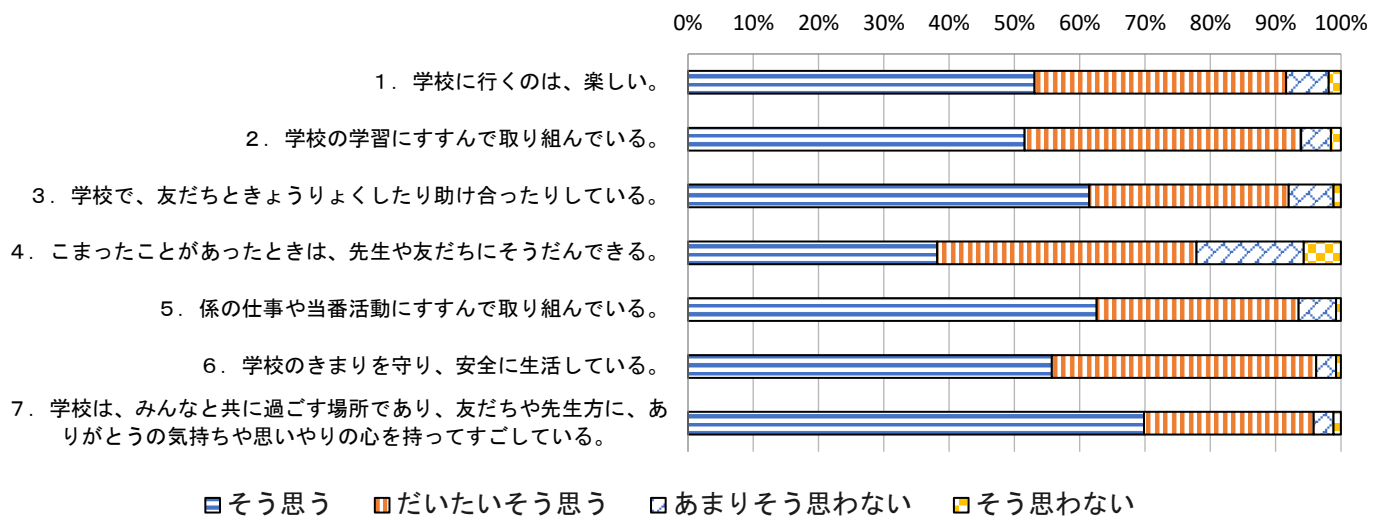
一方で、・子どもは、学校が楽しいと言っている ・学校は、生命や人権を尊重し、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる といった項目では、肯定的な回答が90%をやや下回る結果となりました。このことを重く受け止め、子どもたちが困ったときに安心して相談できる関係づくりを、これまで以上に大切にしていきます。また、「誰に相談してもよい」ということを、日常の中で繰り返し子どもたちに伝え、一人一人の頑張りや思いに、より丁寧に目を向けてまいります。

さらに、「学校は保護者や地域に学校の情報を発信している」の項目についても、90%を下回る結果となりました。今後も学校だよりや学校ホームページ等を通して、子どもたちの学びや学校生活の様子が伝わるよう、工夫しながら情報発信に努めてまいります。

また、「学校の施設や設備は整っている」の項目については、昨年度同様、他の項目と比べてやや評価が低い結果となりました。今年度は、教室に加え、特別教室・学校図書館・体育館のエアコン整備を行い、体育館前トイレには洋式トイレを一基設置しました。今後も、市の学校施設課と連携しながら、改善に向けた準備を進めてまいります。

【児童アンケートの結果から】

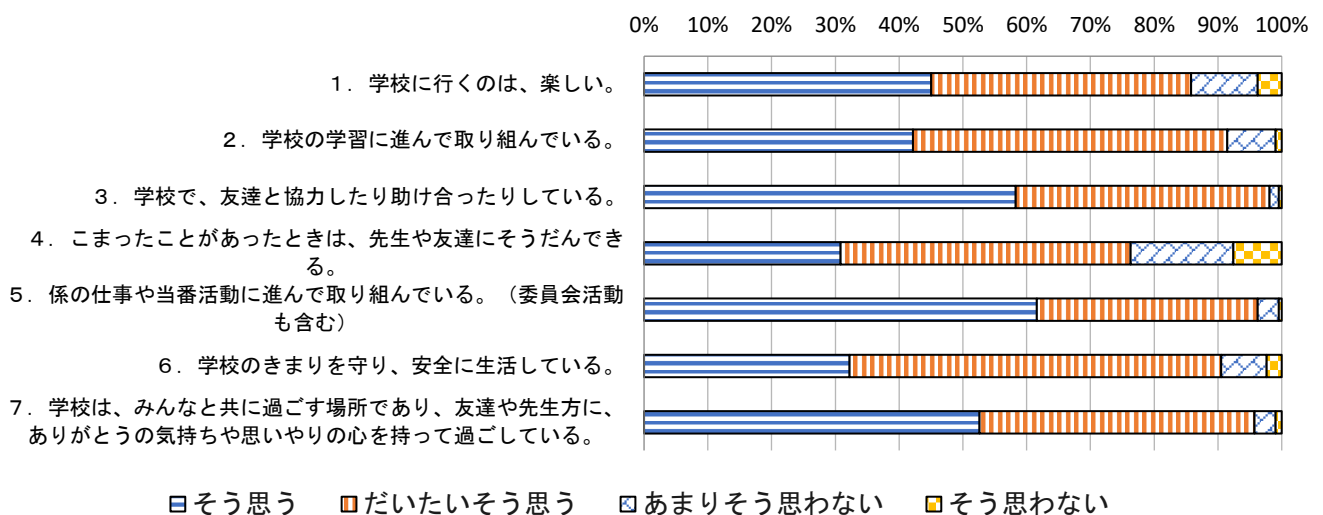
〈3・4年生〉



3・4年生の回答では、ほとんどの項目で肯定的な回答が多く見られました。「学校に行くのは楽しい」「学校の学習にすすんで取り組んでいる」「学校で友だちと協力したり助け合ったりしている」「係の仕事や当番活動にすすんで取り組んでいる」「学校のきまりを守り、安全に生活している」「友だちや先生に、ありがたいの気持ちや思いやりの心を持って過ごしている」といった項目では、90%以上の児童が肯定的に回答しています。

特に、「学校で、友だちと協力したり助け合ったりしている」の項目では、「そう思う」と答えた児童が6割を超えました。運動会の表現活動などを通して、役割を持って関わり合いながら、一つのものをつくり上げる経験を重ねてきたことが、この結果につながっているものと考えられます。

〈5・6年生〉

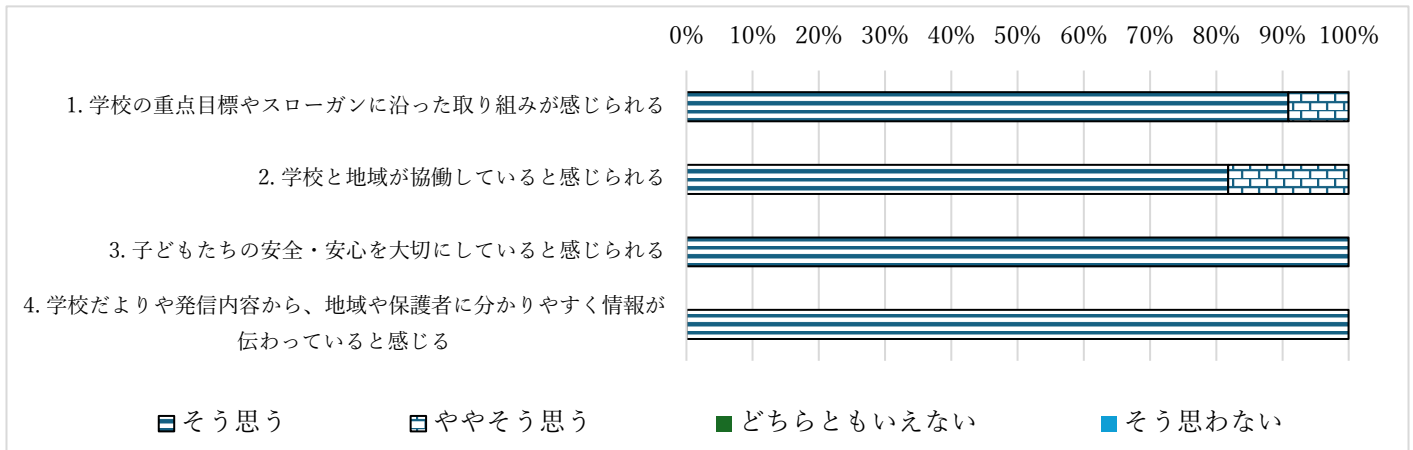


5・6年生についても、全体として肯定的な回答が多く見られました。「係の仕事や当番活動(委員会活動を含む)にすすんで取り組んでいる」では、90%以上の児童が肯定的に回答しており、上級生として学校全体を支え、引っ張っていこうとする意識が育っていることがうかがえます。また、「学校で友だちと協力したり助け合ったりしている」については、95%以上の肯定的な回答があり、委員会活動や学級での役割を通して、声を掛け合いながら取り組んでいる様子が表れています。「友だちや先生に、ありがたいの気持ちや思いやりの心を持って過ごしている」についても、90%以上の肯定的な回答が見られ、日々の学校生活や行事を通して、感謝する心が育つ

ていることがわかります。

一方、3・4・5・6年生全体で見ると、「困ったことがあったときに、先生や友だちに相談できる」の項目では、肯定的な回答が8割に満たない結果となりました。この結果を受け、担任だけでなく、学年の教職員や養護教諭、専科教員、管理職など、身近にいる大人の誰にでも相談してよいことを、これからも丁寧に伝えていきます。また、子どもたちの小さな変化に気づけるよう、声かけや見守りを大切にしていきます。

【学校運営協議会委員の結果から】



アンケート結果から全体として、学校の取組について評価をいただいていることがわかります。一方で、「ややそう思う」との回答もあることから、さらによりよい学校づくりを目指して改善を重ねていく必要があると受け止めています。

また、貴重なご意見もいただきました。

学校・地域・行政が連携しながら子どもたちを支えている体制について評価の言葉をいただきました。

また、学年全体、学校全体で子どもを育てていく考え方や、高学年教科担任制など組織的な取組を今後も継続してほしいという意見をいただいております。

さらに、教職員が子ども一人ひとりに寄り添い、熱心に指導していることや、不審者対応訓練や避難訓練など、日頃から安全確保に努めている取組についても評価していただきました。

災害時の対応についても、今後さらに地域と学校の協力体制を深めていくことが大切であるとのご意見をいただいております。

リソースルームの運営については、教室に入りづらさを感じている子どもにとって安心できる居場所を設けていることや、無理のない形で学校とつながり続けられるよう工夫していることについて触れていただきました。そして、この取組を今後も大切に継続してほしいとのご意見を多くいただきました。

さらに、不登校や子どもの自殺が社会問題となっている現状を踏まえ、子どもたちの小さな変化に大人が気づき、学校を、地域全体で見守り、いつでもSOSが出せる環境を整えることの大切さについてのご意見も寄せられました。

いただいたご意見を真摯に受け止め、今後も地域の皆様とともに、子どもたちの安心と成長を支える学校づくりを進めてまいります。

【おわりに】

今回の学校評価の結果を、今後の教育活動の改善につなげていくことが何より大切だと考えています。子ども一人一人が安心して過ごし、学ぶ楽しさを感じられる学校をめざし、教職員一同、引き続き取り組んでまいります。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。